



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする

4月



2026年度 西神吉小だより

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 13

～ 一歩ずつ 着実に ～

新年度がスタートして、早いもので2週間が過ぎました。新しい教室、新しい先生、新しい友だち。緊張気味だった子どもたちの表情も、今ではすっかり和らぎ、校舎には元気な笑い声が響いています。そして、4月も下旬に入り、学校生活のルーティンが整ってきました。授業中、どの教室を覗いても、朝の読書タイムから午後の授業まで、子どもたちは驚くほど集中して取り組んでいます。背筋をピンと伸ばして先生の話の聞き姿や、自分の考えを一生懸命にノートに書き留める姿が見られ、新しい学年へのやる気がひしひしと伝わってきます。入学して間もない1年生は、初めての教科書を広げ、指で文字を追いながら音読をがんばっています。2年生以上の子ども達も、算数や社会の課題に対し、タブレットを活用したり、友だちと意見を交換したりと、深い学びに挑戦しています。休み時間の賑やかさと、授業中の真剣なまなざしの「オン・オフ」の切り替えが、この2週間でとても上手になりました。

進級・入学から2週間。子どもたちの緊張は「意欲」へと形を変え、毎日の学習に本格的に取り組んでいます。ノートの最初のページを丁寧に書く姿、真っ直ぐに上がる手。そんな小さな頑張りの積み重ねは、子どもたちの大きな成長へと繋がるはずです。この調子で、一歩ずつ着実にステップアップしていけるよう見守っていきたいと思います。そして、「わかった!」「できた!」という喜びを一つでも多く積み重ねられるよう、教職員一同、一丸となって西神吉っ子をサポートしていきたいと思います。

保護者の皆様には、まずはこの2週間の頑張りを、ご家庭でもたっぷり褒めてあげてください。そして、ぜひお子様の「新しい発見」に耳を傾けてあげてください。よろしくお願いいたします。

西神吉っ子の一コマ



正門から玄関前にかけて、毎朝掃き掃除を手伝ってくれる3年生がいます。ありがとう!!

◆お礼◆

ある日の朝、地域の方から一本のお電話をいただきました。「近くに帽子が落ちていたのですが、どうしたらよいでしょうか」というご連絡でした。早速何うと、「お忙しいのにわざわざ取りに来ていただいて、ありがとうございます」と、こちらが恐縮してしまうほど温かい言葉をかけてくださいました。落とし物一つにも心を寄せてくださる地域の方の温かさに、感謝の気持ちでいっぱいです。帽子は無事、持ち主の元へ戻りました。拾ってくださった方の手、電話をくださった手間、そして手渡される時の子どもの笑顔。一つの帽子がつないでくれた「地域の温もり」を、子どもたちにもしっかり伝えていきたいと思ひます。